

# 昭和回顧録

発行年月日 令和5年8月3日  
発行者 武田 麻鈴  
〈出典〉  
①7/11HP daihatsu.co.jp  
②NHK for school  
③www.nhk.or.jp  
④NHK 出雲中央図書館  
⑤NHK 出雲中央図書館  
⑥NHK 出雲中央図書館  
⑦NHK 出雲中央図書館  
⑧NHK 出雲中央図書館  
⑨NHK 出雲中央図書館  
⑩NHK 出雲中央図書館

「高度経済成長期」は、戦後日本を大きく変えた時代。その軌跡を追う。

## 高度経済成長期が刻んだ日本の躍進

### 日本の華々しい軌跡を追おう

若広瀬と困難の日々から、日本は一歩ずつ前進して来た。その中で訪れた高度経済成長期。輝かしい栄光を背に国は新たな展望を求めて歩み出した。ここでは、いわゆる「光の世代」の人々が生きてきた時代をのぞくことで高度成長がもたらした栄光とまた身近にはふるさと出雲の今と昔の地域の交差にも触れてみる。

#### 第1章 1950年前半 再生と希望の夜明け

人口増加はゆるりとしたペース。人口に占める65歳以上の割合は5.5%程度。現在では20%以上。多くの家庭は大家族。祖父・祖母・親類が住む家が多かった。生活必需品が不足していた。節約と復興が重要な時代。質素な生活の日々。便所とトイレが求められた。

衛生状態は不安。感染症や飢饉による栄養不良が主な健康問題。特に子供たちに影響大。戦災による医療基盤の崩壊から復興が進行中。平均寿命は戦後49年。男女とも50歳代。平均寿命は男性59歳、女性62歳。97歳まで生きる人もいた。若者は感じづらく、物資不足や都市の再建が優先されていた。後に徐々に復興の歩みが活気ある街を取り戻す。

食糧や生活必需品が不足していた。節約と復興が重要な時代。質素な生活の日々。便所とトイレが求められた。

高度経済成長の始まり。労働者の増加と都市化が進展し、労働力の生活様式も変化する。都市部での新しい建物の建設も進み、郊外郊外の新しい街の景観も変化した。

下水道や水道の整備が行われ、衛生状態が改善。感染症の発生が減少し、栄養改善により栄養失調の増加も減少。医療技術の革新や研究の進歩により、平均寿命は70歳を超え、男性は約67歳、女性は約69歳に達した。

#### 1950(昭和30)年代 戦後の日本が立ち上がり始めた時代

1955年公務員初任給 9200円  
映画館 150円  
コーヒー 50円  
とんかつ 150円  
卵 86円  
アイスクリーム 60円  
777アップム  
1958年 東京タワー完成

#### 1960(昭和40)年代 高度経済成長最盛期、暮らしが大きく変化した時代

1960年カラーテレビ登場  
公務員の初任給 21600円  
映画館 500円  
コーヒー 80円  
とんかつ 300円  
卵 216円  
アイスクリーム 100円  
アニメ「サザエさん」放送開始  
ウルトラマンシリーズ放送開始  
1964年(東京オリンピック開催 東海道新幹線開通)

#### 1970(昭和50)年代 アメリカの影響を大きく受けた時代

1970年(大阪万博開催、カプスードル発売開始、マクドナルド1号店オープン、ガンタ、キーマフライ、チキン上陸)  
1973年 石油危機「オイルショック」

#### 第2章 1960年代 黄金時代の誕生

人口増加が急激に進む。核家族化が進む一方、地域社会のつながりは強く残る。女性の社会進出が始まり、一部では結婚後も働く女性が増える。

高度経済成長の始まり。労働者の増加と都市化が進展し、労働力の生活様式も変化する。都市部での新しい建物の建設も進み、郊外郊外の新しい街の景観も変化した。

下水道や水道の整備が行われ、衛生状態が改善。感染症の発生が減少し、栄養改善により栄養失調の増加も減少。医療技術の革新や研究の進歩により、平均寿命は70歳を超え、男性は約67歳、女性は約69歳に達した。

衛生状態は不安。感染症や飢饉による栄養不良が主な健康問題。特に子供たちに影響大。戦災による医療基盤の崩壊から復興が進行中。平均寿命は戦後49年。男女とも50歳代。平均寿命は男性59歳、女性62歳。97歳まで生きる人もいた。若者は感じづらく、物資不足や都市の再建が優先されていた。後に徐々に復興の歩みが活気ある街を取り戻す。

食糧や生活必需品が不足していた。節約と復興が重要な時代。質素な生活の日々。便所とトイレが求められた。

高度経済成長の始まり。労働者の増加と都市化が進展し、労働力の生活様式も変化する。都市部での新しい建物の建設も進み、郊外郊外の新しい街の景観も変化した。

下水道や水道の整備が行われ、衛生状態が改善。感染症の発生が減少し、栄養改善により栄養失調の増加も減少。医療技術の革新や研究の進歩により、平均寿命は70歳を超え、男性は約67歳、女性は約69歳に達した。

衛生状態は不安。感染症や飢饉による栄養不良が主な健康問題。特に子供たちに影響大。戦災による医療基盤の崩壊から復興が進行中。平均寿命は戦後49年。男女とも50歳代。平均寿命は男性59歳、女性62歳。97歳まで生きる人もいた。若者は感じづらく、物資不足や都市の再建が優先されていた。後に徐々に復興の歩みが活気ある街を取り戻す。

食糧や生活必需品が不足していた。節約と復興が重要な時代。質素な生活の日々。便所とトイレが求められた。

#### 魚の遺産

東海道新幹線の開通。東京から大阪まで約4時間で通れるようになった。これは、戦後最大の経済的躍進の一つ。また、この頃には、日本のGNR(国有鉄道)は、戦後最大の赤字を記録した。これは、戦後最大の赤字を記録した。これは、戦後最大の赤字を記録した。

東海道新幹線の開通。東京から大阪まで約4時間で通れるようになった。これは、戦後最大の経済的躍進の一つ。また、この頃には、日本のGNR(国有鉄道)は、戦後最大の赤字を記録した。これは、戦後最大の赤字を記録した。

東海道新幹線の開通。東京から大阪まで約4時間で通れるようになった。これは、戦後最大の経済的躍進の一つ。また、この頃には、日本のGNR(国有鉄道)は、戦後最大の赤字を記録した。これは、戦後最大の赤字を記録した。

東海道新幹線の開通。東京から大阪まで約4時間で通れるようになった。これは、戦後最大の経済的躍進の一つ。また、この頃には、日本のGNR(国有鉄道)は、戦後最大の赤字を記録した。これは、戦後最大の赤字を記録した。

東海道新幹線の開通。東京から大阪まで約4時間で通れるようになった。これは、戦後最大の経済的躍進の一つ。また、この頃には、日本のGNR(国有鉄道)は、戦後最大の赤字を記録した。これは、戦後最大の赤字を記録した。

東海道新幹線の開通。東京から大阪まで約4時間で通れるようになった。これは、戦後最大の経済的躍進の一つ。また、この頃には、日本のGNR(国有鉄道)は、戦後最大の赤字を記録した。これは、戦後最大の赤字を記録した。

東海道新幹線の開通。東京から大阪まで約4時間で通れるようになった。これは、戦後最大の経済的躍進の一つ。また、この頃には、日本のGNR(国有鉄道)は、戦後最大の赤字を記録した。これは、戦後最大の赤字を記録した。

東海道新幹線の開通。東京から大阪まで約4時間で通れるようになった。これは、戦後最大の経済的躍進の一つ。また、この頃には、日本のGNR(国有鉄道)は、戦後最大の赤字を記録した。これは、戦後最大の赤字を記録した。

東海道新幹線の開通。東京から大阪まで約4時間で通れるようになった。これは、戦後最大の経済的躍進の一つ。また、この頃には、日本のGNR(国有鉄道)は、戦後最大の赤字を記録した。これは、戦後最大の赤字を記録した。

#### ～変わりゆく街並み～

1961(昭和36年) 2023年

①にぎわい土曜夜市  
↑ 多くの人で活気に満ちている。  
↑ 建物は新しく、人がのびのびと開けている店も多い。

1941(昭和16年) 1970(昭和45年) 2023年

↑ 発展途上の駅舎と駅前の様子。  
↑ 利用客が99%見受けられる。この年の12月に改築され周りを建設ラッシュが進む。  
↑ きれいに建て直された今の新駅舎。人はまばらである。

値段が倍に!

1960年前半 後半

四大公害  
①水質汚濁  
②大気汚染  
③土壌汚染  
④騒音

昔は花粉症はなかった!?

①昔は花粉症はなかった。  
②戦後、戦災による森林の減少や、戦後の復興による大規模な宅地開発により、花粉の飛散が増えた。  
③戦後の大規模な宅地開発により、花粉の飛散が増えた。  
④戦後の大規模な宅地開発により、花粉の飛散が増えた。  
⑤戦後の大規模な宅地開発により、花粉の飛散が増えた。

福集後記

小豆と出雲にゆかりをも街の発展に貢献した。高度成長期の活気も街の発展に貢献した。高度成長期の活気も街の発展に貢献した。

#### アーケードの様子

#### 出雲市駅の様子